

◇工法名	ボンフロン パレマイカ工法		
◇適用素地	RC、モルタル		
◇使用材料	下塗	パレストーンシーラー	15.0 kg/缶
	中塗	ボンフロンパレストーン中塗	16.0 kg/缶
	上塗1	ボンフロン パレマイカ主材下塗	20.0 kg/缶
	上塗2	ボンフロン パレマイカ主材上塗	20.0 kg/缶

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔 (23°C)		施工方法
					工程内	工程間	
素地調整	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。						
1	下塗	パレストーンシーラー	清水 10 ~ 30	0.10 ~ 0.15	1	3h以上 3日以内	刷毛 ウールローラー
2	中塗	ボンフロン パレストーン中塗	清水 0 ~ 5	0.20 ~ 0.30	1 ~ 2	3h以上 3日以内	ローラー
3	上塗 1	ボンフロン パレマイカ主材下塗	清水 2 ~ 4	1.20 ~ 1.50	1	4時間 以上	砂骨ローラー
4	上塗 2	ボンフロン パレマイカ主材上塗	清水 6 ~ 8	1.0 ~ 1.30	1	-	無泡ローラー (ポリエステル製中毛)
合 計					4 ~ 5		

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率 (%)
刷毛, ローラー	80~100

注2) 塗装工事における留意点については「塗装工事における留意点」を参照ください。

※ (水性)

※ (素地:無機系素地)

注3) パレストーンシーラーは下地を隠蔽するようにムラなく塗装して下さい。

注4) パレストーン中塗は1回塗りで下地の隠蔽が図れない場合は2回塗りを行ってください。(目地仕様などの場合)

注5) ボンフロン パレマイカ主材下塗20kg/缶に対して清水2.5~4%、パレマイカ主材上塗20kg/缶に対して清水6~8%加え、均一になるまでよく攪拌してください。

注6) ボンフロン パレマイカ主材上塗はマイカの偏りが生じないように周りのパターンに合わせながら、施工して下さい。

注7) ローラーは専用ローラー(下塗材は砂骨ローラー、上塗材はローラー(ポリエステル製))を使用して下さい。

他のローラーを使用すると仕上がりが状態、塗装作業性等に著しい影響を与えます。

材料は均一にローラーに含ませてください。

注8) ボンフロン パレマイカ主材下塗

① 材料を均一にローラーに含ませてください。

② まず、コーナー部をコーナー用ローラー、筋違い刷毛で面を囲むように塗って

③ 中央面の塗装は好くばり塗りし、次にﾀｲ、ｺｺとローラーを転がしてローラーマークが生じないよう、また、厚塗りにならないようにならし塗りして下さい。ボンフロン パレマイカ主材下塗は、下地に材料がムラなく付着する程度に塗装します。

注9) ボンフロン パレマイカ主材上塗

① ローラー(ポリエステル製)に材料を均一に含ませて下さい。

② ﾀｲ、ｺｺにローラーを転がしてローラーマーク、マイカの偏りが生じないようにならし塗りをして下さい。

③ ボンフロン パレマイカ主材上塗はしごき塗りをせずに、材料を載せるように施工して下さい。